

令和3年度指定管理者モニタリング評価表

施設名	ユーフォリア千里浜	所在地	羽咋市千里浜町タ1番地67
指定管理者	有限会社プロジェクトドウ		
住所	羽咋市中央町フ162番地	選定方法	公募
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日		
指定管理料	30,000千円(令和3年度現計予算額)		
評価担当課	生涯学習課		
年度重点目標	施設の効率的な維持管理及び適切な人員配置を行うことで、利用者の利便性を図るとともに、コロナ禍での完全安心な施設運営を行い利用者の増加を図る。また、サービスの質を落とすことなく経費の削減を図り、健全な経営を行う。		

評価項目	評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考
		中間	年間		
1 職員配置などの実施体制	仕様書・事業計画書どおりの人員配置がなされているか。	A		聞取り書類	事業計画書にて確認、名簿を受理
	事業計画書に則した職員研修が実施されているか。	A		聞取り書類	定期的に研修を実施
	指定管理業務の全部、又は主たる業務を再委託していないか。(届出済みの業務委託部分は除く)	A		聞取り書類	事業計画書にて確認
2 施設、設備及び備品の維持管理の状況	仕様書等に基づき適正に維持管理業務が実施されているか。	A		書類	事業計画書にて確認
	整理整頓・清掃がなされており、植栽等についても美観を損なっていないか。	A		現地	現地確認
	法定保守点検について、点検内容、時期等が法令基準に基づき実施されているか。	A		書類	書類確認
	保守点検において、異常が認められていた場合、また、修繕が必要な箇所が見つかった場合、適切な処置が実施されたか。	A		聞取り 現地	迅速な対応に努めている
	備品等に過不足がなく、適正に管理されているか。	A		書類	台帳確認
3 サービス向上への取組状況 (アンケート調査による意見及び対応は項目9に)	ホームページなどで積極的に情報提供が行われているか。	A		聞取り	指定管理者でホームページを作成
	特定の利用者を優遇したり、法令に基づく手続を経ることなく、利用を制限している事例はないか。	A		聞取り	事例なし
	利用者に対して満足度について調査(アンケート・意見箱の設置等)を行ったか。	A		書類	アンケート確認
	苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		聞取り 書類	苦情・アンケート・意見に対し丁寧に迅速な対応に努めている
4 防犯・防災対策の取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。避難訓練等は実施されているか。	A		聞取り 書類	避難訓練を年2回実施 マニュアルを作成し実施
	リスクに応じた保険等に加入しているか。	A		書類	総合賠償責任保険及び 建物総合共済損害保険に加入

評価項目		評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考
			中間	年間		
5	個人情報保護の措置状況	個人情報とは適正に管理されているか	A		聞き取り書類	適正に管理されている
6	経理の執行管理状況	団体のその他の事業との区分を明確にし、適正に経理処理が実施されているか。	A		聞き取り書類	月別報告書にて確認
		収支計画書と大きな隔たりはないか。ある場合は、その原因は何か。	C		書類	収支状況の報告書で確認 ※コロナ禍の影響により減少
		料金等の収入が適正に得られているか。著しい増減がある場合は、その原因は何か。	B		書類	月別報告書にて確認 ※コロナ禍の影響により減少
7	施設利用状況	施設の利用が十分に行われているか。利用者数、施設稼働率等に著しい増減がある場合は、その原因は何か。	B		書類	利用状況報告書で確認 ※コロナ禍の影響により減少
8	市への報告体制の確保	月例報告・実績報告・その他必要な報告が適切に提出されているか。	A		書類	毎月10日までに報告書の提出
9	アンケート調査意見及び対応	<ul style="list-style-type: none"> ・サウナ利用者のマナーが悪との指摘を受け、当事者と面談するとともに貼紙で注意喚起を行った。 ・浴場の床が滑りやすいとの指摘を受け、滑り防止シートの増設や、ゆっくり歩くよう注意喚起をした。 ・コロナ禍での子供連れプール利用者への予約制について不公平との指摘があり、コロナ感染症拡大防止策であることを説明し理解を得た。 ・小学生以下のプール利用者の付添い者には水着着用が義務付けられていることへ疑問の声があり、安全性を説明し理解を得るとともに、やむを得ない場合はフロントに申し出ることで付添い者の水着不用の措置を取った。 				
10	今後、検討・調整が必要な事項	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止、感染予防、健康管理の強化を図るよう指示した。 ・コロナ禍で減少した利用者を、感染症が収束した際の増加させる方策を検討するよう指示した。 ・接遇研修の実施し、接客の充実及び対応を含めサービスの質をより向上させるよう指示した。 ・広報はくいへの掲載、チラシ等の作成、ホームページへのアップ等によりPR活動に努めるよう指示した。 ・道の駅「のと千里浜」への多数の来訪者を、当館に誘導する仕組み作りを検討するよう指示した。 				
11	今後の管理方針	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスは感染拡大予防ガイドラインを参考に感染防止の対策を行う。 ・二酸化炭素の排出を抑制するため、12月から3月末までの冬季間、露天風呂の使用を制限する。 ・今年度設置した源泉の湯量や温度等を計測する機器を活用し、適正に温泉の管理運営を行う。 ・施設及び機器の老朽化で修繕箇所が多くあるため、優先順位を定め計画的な修繕が必要である。 ・券売機の更新と共に、利用料金のキャッシュレス化を検討する必要がある。 				
総合評価		中間評価	年間評価		令和2年度	令和元年度
		A			A	A